



■建物被害 (9月20日現在)

	全壊	大規模半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計
住家	11	136	818	583	5	1,553
非住家	21	73	515	121	4	734
合計	32	209	1,333	704	9	2,287



長内町平沢地区の臨時集積場に積まれた災害ごみ

■被害額(概算) (9月23日現在)

※被害額は概算であり、今後の調査の進展などにより増加する場合があります

区分	被害額	概要
建物(住家・非住家)	33億1,336万円	被害数2,287棟
庁舎等	50万円	土地流出
社会教育施設	1億3,817万円	図書館、体育館等13カ所(床上浸水等)
医療衛生施設	1億1,057万円	一般診療所等13施設(床上浸水等)
消防施設	450万円	屯所2棟(床上浸水)、防災無線柱1基(土地流出)
観光施設	4,854万円	土砂流入等16カ所
商工関係	64億5,547万円	商業関係443事業所、工業関係60事業所(土砂流入等)
水産関係	5億8,287万円	養殖施設、定置網、巻揚機、ふ化場、漁船等41カ所
漁港施設	5,650万円	漁港12カ所
農業関係	2億3,406万円	農業施設35件、農作物68.4ha、家畜、農地等152カ所
林業関係	7億7,147万円	林道56カ所(路面流出等)、林地16カ所(荒廃)
土木施設等	52億4,787万円	河川190カ所、道路160カ所、橋梁16カ所、公園5カ所、下水道3カ所
水道施設	2億200万円	取水施設等9カ所
学校	3,646万円	12校14カ所(床上浸水等)
通信設備	9,288万円	光ファイバーケーブル損傷・断線等
その他	196万円	防犯灯、カーブミラー 17カ所
計	173億5,538万円	(【参考】東日本大震災による被害額：310億9,015万円)

台風10号 被害状況

各地に大きな爪痕 被害額173億円超

■激甚災害に指定

8月30日に発生した台風10号による災害。市内では、多数の浸水被害に加え、土砂崩れや道路損壊によって通行止めが発生し、山根町・山形町では一時100世帯以上が孤立。一部で停電や断水なども発生するなど、市民生活にも大きな影響を与えました。

中でも被害が大きかったのが豪雨による浸水です。河川からの越水や、河川に排水できなかつた雨水による内水氾濫で、川貫から川崎町、新築町にかけて市街地一帯が広く冠水。駅北側では、最大で水

■復旧・復興に舵切る

発災から1カ月、その被害の全容が明らかになりつつあります。9月23日現在で市がまとめた被害額は商工関係を中心に173億円超。さらに増加する可能性もあり、市の一般会計予算215億円に迫る額となっています。また、3万トンを超える災害廃棄物が発生し、その処理に15億円以上の費用が見込まれています。市では、23日をもって台風10号にかかる災害対策本部を廃止。同日付で久慈市平成28年台風災害復旧・復興推進本部を設置しました。一日も早く「日常」の生活を取り戻せるように、復旧・復興に向けて全力で取り組んでいきます。

位が2m以上に達したとみられています。

9月16日、政府は台風10号による災害を、国が災害復旧費用を支援する「激甚災害」に指定することを閣議決定。23日に公布・施行されました。

久慈市は「局地激甚災害」の対象にもなり、被災した中小企業に対し資金調達の支援などの措置が行われます。



市街地一帯が広く浸水被害を受けました(国土地理院提供 / 8月31日14時8分撮影)

市内の観測値・被害状況等

■降水量(アメダス: 8月29日~30日)

観測地点	総降水量	1時間最大降水量
久慈	139.5mm	58mm (30日18時53分)
山形	178.5mm	38.5mm (30日18時35分)
下戸鎖	278.5mm	80mm (30日18時35分)

■河川の最高水位

5.67m[久慈川・八日町](8月30日20時30分)

■孤立世帯の状況

最大107世帯220人(9月2日6時)
(9月13日に全世帯の孤立解消)

■避難者の状況

最大46避難所1,225人(8月31日0時30分)
(9月20日に全避難所を閉鎖)

■人的被害

死者1名